

国立循環器病研究センターおよび金沢大学附属病院、関西科大学附属病院で

レカネマブの治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのことがある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2023 年 12 月～2024 年 12 月の間に、アルツハイマー病による軽度認知障害もしくは軽度の認知症で少なくとも 1 回レカネマブの治療を受けた方

【研究課題名】レカネマブの治療アウトカムに関する調査研究（LEMCID 研究）

【研究責任者】

関西医科大学 神経内科学講座 主任教授 薬師寺 祐介

【研究の目的・意義】

この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、レカネマブを実臨床で使用された患者さんにおけるレカネマブの有効性や治療継続状況を評価し、より適切な治療指針の確立を目指します。

【利用する診療情報】

診療情報：生年月日、性別、原疾患、併存疾患、介護認定の有無・区分、認知症診断時期、アミロイドβ病理検査結果、APOE 遺伝子多型レカネマブ治療情報（治療開始日・終了日、投与回数、治療終了理由、有害事象）、入院情報（入院日、入院理由）、心理検査結果

【情報の管理責任者】

関西医科大学神経内科学講座 薬師寺 祐介

【研究の実施体制】

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 脳神経内科 副院長・脳神経内科部長 猪原匡史

共同研究機関・研究責任者

1. 金沢大学附属病院 脳神経内科 教授 小野賢二郎
2. 関西医科大学 神経内科学講座 主任教授 薬師寺祐介
3. 名古屋市立大学大学院 医学研究科 医療統計学・データサイエンス分野
准教授 中谷英仁
4. 一般財団法人 LHS 研究所 代表理事 福島雅典

【外部機関への情報等の提供】

この研究で収集した情報を、国立循環器病研究センターに設置したデータセンターに集約して整理した後、名古屋市立大学大学院へ提供し、解析を行います。提供する際は、あなたのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。

データセンター

研究機関名：国立循環器病研究センター

研究責任者：脳神経内科 副院長・脳神経内科部長 猪原匡史

提供方法：クラウドストレージ Box を用いて提供

解析機関名：名古屋市立大学大学院 医学研究科

研究責任者：医療統計学・データサイエンス分野 准教授 中谷英仁

提供方法：クラウドストレージ Box を用いて提供

【研究期間】研究許可日より2027年3月31日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：研究開始許可日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、関西医科大学附属病院ホームページ上へ掲載しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、倫理審査委員会の承認と、研究機関の長の許可を受けて実施します。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

関西医科大学 神経内科学講座 研究医員 銅山 達哉

連絡先：関西医科大学神経内科学講座 072-804-0101 (代)